

# 農経新聞

株式会社 農経新聞社  
 東京都品川区西五反田  
 1-27-6 市原ビル9F  
 (郵便番号 141-0031)  
 電話: 東京 (03)3491-0360  
 FAX (03)3491-0526  
 ホームページ  
<http://www.nokei.jp>  
 郵便振替 00180-8-156982

## 過去最多の20社出展

### 大田市場で品種見本市

青果育種研

卸売会社と種苗メーカーで組織する青果育種研究会(会長 宮本修・東京青果専務、会員66社)は、東京・大田市場で「第137回品種見本市」を開催。これまでで最多となる20社・団体が出展し、推奨品種70品種や資材を紹介した。

渡辺農事(千葉県野田市)では、大平茨インゲンの「シユカグリーン」を披露。茨長20〜23センチになるスジなしインゲンで、豆の肥大が遅

く、形・揃いが良いのが特徴。現在はスイカから転作した熊本県の産地などで導入している。同社では「小規模でも栽培ができる」などとして卸会社と連携した産地育成を呼びかけた。

増田採種場(静岡県磐田市)では加工用に適した寒玉の「ふゆみつ」など「甘いキャベツシリーズ」やジュース用のケール品種「ジューシーグリーン」を紹介。

カネコ種苗(前橋市)ではしっとりした食感で甘みの強いサツマイモ「シルクスイート」など、農研機構野菜茶業

研究所では買い物袋にすっぽりと収まるサイズのネギ「ふゆわらべ」を紹介した。

J A各県連の事務所が集まる大田市場とあって、セミナーでは同市場に駐在する3県連の所長らが品目の生産動向や新たな取組み内容を報告した。J A宮崎経済連東京営業所の坊屋敷浩所長は夕バコからの転換作物にサトイモ、ゴボウ、ホウレン草を中心に推奨していることを説明。さらに、年間3500トン(原料ベース)の加工能力をもつ冷凍加工場が8月に稼働し、業務用を中心に供給していくことを話した。また、J A静岡経済連、J A全農はともに業務加工用への対応に注力していくことを示した。



東京荏原青果、東京青果、東京市場の協力で行われた見本市。「ジューシーグリーン」(下)は搾汁量が多い品種。生葉は東京の高級スーパーで販売されている